NDT Mart
NDTマート株式会社

KT-300

製品案内　超音波厚さ計　簡易取扱説明書

1 概要

2 事前の準備

KT-300（上部コネクタ）とプローブ（探触子）をケーブルで接続する。

「電源ON」キーを押し電源を入れる。

※何も操作しないでいると、約5分で自動的に電源が切れます。

3 測定準備（零点調整・音速の校正）　※より正しい測定値を測る為に調整を行ってください

零点調整　※装置を起動する度に行ってください

接触媒質（カプラント）を本体下部の零点調整用試験片に少量塗布する。

※超音波が空気中を非常に伝わりにくいという性質がある為、必ず塗布してください。

4

接触媒質（カプラント）を塗布した零点調整用試験片にプローブを接触させる。

「CAL」キーを押す。
この状態が零点（基準）になります。
※音速を5900m/秒に設定の場合、4．00mmと表示されます。

5 音速の校正

（A）音速直接入力　（B）2点校正　※（A）（B）いずれかで校正を行って下さい

（A）音速直接入力　※試験片が無い場合はこの方法を使用

A-1

「VEL」キーを押す。
「 ↲ 」キーで桁位置を選択する。

A-2

「▲▼」キーで数値を入力する。
「VEL」キーを押すと音速を保存できる。
※音速一覧表は【6】音速一覧表を参照。

（B）2点校正

B-1

「MENU」キーで【Menu】を選択し、「 ↲ 」キーで確定する。

B-2

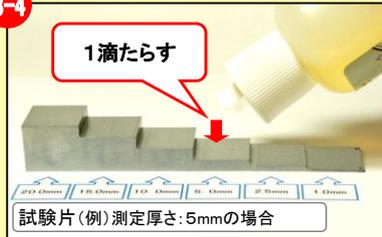
①「▲▼」キーで【System setup】を選択し、②「↲ 」キーで確定する。

①「▲▼」キーで【Min capture】を選択し、②「↲ 」キーでOFFにする。

B-3

次に①「▲▼」キーで【2-Point CAL】を選択し、②「↲ 」キーでONにする。
③「MENU」キーを押し【System setup】に戻る。

再び「MENU」キーを押す。

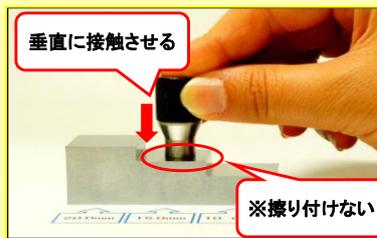
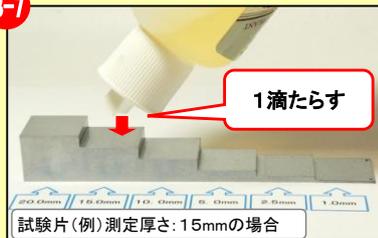
B-4

測定物と同じ材質で厚さが既知の試験片を準備する。
試験片に接触媒質（カプラント）を少量塗布し、プローブを接触させ、1点目の測定を行う。

B-5

測定中に「CAL」キーを押す。
測定値とともに【Thin】と表示される。
プローブを試験片から離し、①「↲ 」キーで桁を選択し②「▲▼」キーで1点目の試験片の厚さを入力する。

B-6

「CAL」キーを押す。
１点目の校正を終了します。
【Thick】と表示される。

B-7

次に厚さの異なる2点目の試験片に接触媒質（カプラント）を少量塗布し、プローブを接触させ、2点目の測定を行う。

B-8

プローブを離し①「↲ 」キーで桁を選択し②「▲▼」キーで2点目の試験片の厚さを入力する。

B-9

「CAL」キーを押すと2点目の校正が終了します。

5 その他の機能

表示単位

①「MENU」キーで【Menu】を選択し、②「 ↲ 」キーで確定する。

①「▲▼」キーで【System setup】を選択し、②「↲ 」キーで確定する。

「 ↲ 」キーを押す度、【METRIC(ミリ)】と【IMPERIAL（インチ）】が切り替わる。

「MENU」キーを押す。

【System setup】に戻るので再び「MENU」キーを押す。

6 音速一覧表

各材質の音速一覧表

材　　質	音　速
鋼	5,900
アルミニウム	6,320
ステンレス	5,800
銅	4,700

※同じ材質でも成分によって多少違います。